

● 地域提案型

平成21年度 採択内定案件

I. 提案事業の概要	
1. 国名	中華人民共和国
2. 事業名	四川省の温泉を活用した観光産業振興による被災地復興事業
3. 事業の背景と必要性	<p>四川省成都市は、歴史的多様性、動植物・自然の豊富さを観光資源として、2007年実績で国内観光客4000万人、海外からの観光客57万人と中国内陸部ではトップクラスの観光都市として成長してきたが、2008年5月12日に発生した大震災により、死者7万人、被災人口500万人、被害額7兆円と例を見ない災害に直面。成都市管内でも、都江堰市や彭州市（宝山温泉は被災率100%）など北部地域の観光地が甚大な被害を受け、風評被害により同地域の観光業は大幅に停滞している。</p> <p>多大な被害のあった龍門山脈一帯では、良質な温泉を湧出するところが多く、中国政府でも、観光業を震災復興の主力産業と位置づけ、温泉地の開発や再開発などハード面での支援を開始したが、ソフト面でのサービスなど、付加価値を創出するための周辺サービスは、いまだ十分とは言えない状況にある。</p> <p>一方、山梨県では、温泉を中心とした観光産業が多岐に渡って発達しており、成都市が必要としているノウハウを多く有している。この分野での人材育成を行うことにより、温泉観光とその周辺サービスという新たな観光ビジネスを発展させることで、震災復興に寄与することができる。</p>
4. プロジェクト目標	温泉を活用したヘルスツーリズムなどのプログラムの開発がなされ、地域振興のための取り組みが実施されることにより、対象地域のサービスが向上し、付加価値が創出される。
5. 対象地域	四川省成都市
6. 受益者層（人数規模）	四川省成都市の観光業に携わる市民
7. 活動及び期待される成果	<p><期待される成果></p> <p>(1) 成都市旅遊局や各対象地域の関係者が、山梨県の観光振興策や魅力ある観光地づくりなど具体的な施策について理解する。</p> <p>(2) 成都市管内の温泉観光地において、山梨県の取り組み事例が活用され、地域を巻き込んだ観光振興策や具体的な取り組みなどが実施される。</p> <p><活動></p> <p>(1) 短期視察研修受入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 山梨県の観光振興基本計画、魅力ある観光地づくりや国際観光振興策など具体的な施策、取り組みについての研修を実施する。 ・ 山梨県内の温泉地の特色や施設の管理運営手法、観光客誘致のためのPR手法、温泉を活用したヘルスツーリズム、農山村地域におけるグリーンツーリズムへの取り組み事例の視察研修を行う。 <p>(2) 短期専門家派遣</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 対象地域の観光施設および観光施設やサービス内容の現状と課題を調査し、セミナーの開催などを通じてアドバイスをを行う。 ・ 成都市においてシンポジウムを開催し、温泉を活用した観光産業の将来像を探る。
8. 実施期間	2010年11月1日から2013年3月31日
9. 事業費概算額	13,480千円
10. 事業の実施体制	日本側実施団体：四川省の温泉を活用した観光産業振興による被災地復興事業 山梨県実行委員会 中国側カウンターパート：四川省成都市（旅遊局）
II. 応募団体の概要	
1. 団体名（提案自治体）	山梨県 四川省の温泉を活用した観光産業振興による被災地復興事業 山梨県実行委員会（山梨県）
2. 対象国との関係、協力実績	1985年山梨県・四川省は友好県省、1984年甲府市と成都市が友好都市となっている。自治体職員や海外技術研修生の受入を始め、交流及び協力事業を継続して実施している。